

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

<新田川E 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

<新田川E 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
E-2 a	37.6640°	140.9447°	H30.6.7	13:56	14:20	21.5	22.0	砂混シルト	2.5Y3/3	植物片イトミミズ	0.53	>50

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	H30.6.7	13:56	7.0	<0.5	2.4	9.7	8.1	0.05	1.0	3	2.4	0.0037	0.031	0.0015

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
E-2 a	37.6640°	140.9447°	H30.6.7	14:20	7.0	122	21.9	3.0	4.5	2.693	15.2	15.0	36.1	19.0	6.6	8.1	0.38	19	150	1500	0.36

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	H30.6.2	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0094	—	—	—	226	26	200	—
					藻類・植物	単子葉植物	イネ	イネ	<i>Phragmites australis</i>	ヨシ	—	0.17	—	—	—	22.3	2.3	20	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	89	0.015	幼虫	—	—	105	10	95	—
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	9	0.081	未成体/成体	—	—	56.4	5.4	51	—
					節足動物	軟甲	エビ	ナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	44	0.079	成体	—	—	25.6	2.6	23	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	353	0.078	未成体/成体	—	—	39.4	3.4	36	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	8	0.037	未成体	—	—	40.5	4.5	36	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	30	0.022	成体	—	軟体部	75	13	62	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.42	成魚	空胃	内臓除去	92.7	8.7	84	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	20	0.23	未成魚/成魚	—	—	30.9	2.9	28	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	10	0.11	未成魚	—	—	39.8	3.8	36	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	17	0.44	未成魚/成魚	—	—	26.4	1.4	25	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ	5	0.047	未成魚/成魚	—	—	21.5	2.5	19	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.060	成魚	不明消化物	内臓除去	26.5	2.5	24	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	3	0.037	成魚	—	—	31.7	2.7	29	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	1	0.093	未成魚	ハクダ目、シロエカ、リカケ、ロウ、フタカケ、ロウ属、コエケ、リトビケラ属、アシマタ、ラブユ属	内臓除去	30.4	3.4	27	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius sp.</i>	ヨシノボリ属	5	0.038	成魚	—	—	51.1	6.1	45	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.4	成魚	アメリカザリガニ	内臓除去	130	10	120	1.0
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	4	2.3	成魚	ヌカエビ、植物片	内臓除去	83.3	7.3	76	0.71
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	22	0.013	幼生 (オキナシヤクシ)	—	—	287	27	260	—
脊椎動物	両生	無尾	アメリカアカエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	2	0.90	成体	—	—	32.8	4.8	28	0.69					
脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル	5	0.028	成体	—	—	33.0	3.0	30	—					
脊椎動物	両生	無尾	トノサマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	トウキョウダルマガエル														
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.25	—	—	—	86.9	7.9	79	—					
E-3	新田川本流	37.6444°	141.0018°	H30.7.1	脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	143	3.1	未成魚/成魚	—	—	47.9	4.9	43	0.25

- ※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。